

教員名	田戸岡好香	所属学科	地域づくり学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】 政策やルールを策定しても、思ったような成果が挙げられないことがあります。そのため、最近では、政策を策定する際には人の心の働きを適切に理解することが重要だという指摘があり、社会心理学の研究が注目されるようになってきています。そこで、本ゼミナールでは、社会心理学の観点から、私達の心の働きに関する研究を行います。例えば、『どうすれば偏見をなくして共生社会を構築できるのか』、『なぜゴミのポイ捨てはなくなるのか』といった社会的問題から、『どうすれば人は目標に向かって頑張れるのか』といった個人的な問題まで、社会心理学の研究領域は多岐にわたります。しかし、共通していることは、心を科学的に捉え、調査や実験をして証明していくことです。よって、このゼミでは、実際に皆さん自身の手で調査や実験を行うことが目標となります。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】 2年次：★『社会調査（量的調査）』、『社会心理学』の受講をオススメします★ ・社会心理学の基礎的な知識や分析能力を身につけるため、輪読をする。 ・資料や論文の調べ方を学び、日本語で社会心理学の論文を読む。 3年次 ・前期には、グループに分かれて、調査や実験を立案、実施、分析する。 ・社会心理学の知見から政策の有効性について考える「行動政策学」の本を輪読。 ・英語論文の読解のため、教科書を用いて、社会心理学の概念を英語で学ぶ。 4年次 ・前期は、自分の興味関心にあわせて論文を読み、研究計画を立てる。 ・後期は、調査・実験を実施し、データを入力・分析し、結果の報告をしあう。 それを受けて、各自で卒論を書く。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】 社会心理学の調査や実験を行うには、質問紙の作成などワープロソフトによる細かい作業が多くなります。また、データの入力の仕方や分析方法をパソコンの統計ソフトを使いながら学ぶことで、データ分析能力が身につきます。これらの能力が最も活かせるのは調査会社などへの就職ですが、パソコンスキルの高さはどんな企業に就職する際にも、強みになると考えます。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】 ・谷口淳一ほか（2017）『エピソードでわかる社会心理学』北樹出版 ・ロバート・チャルディーニ（2014）『影響力の武器（第三版）』誠信書房</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】 研究をするには、仮説を構築し、調査・実験をし、分析する、という多くの段階を踏まなければなりません。その段階に応じた難しさがありますが、いずれも時間をかけて指導をしますので、だんだんとできるようになります。やる気がある方、一緒に心を科学的に研究しましょう！</p>			